

平成25年度の海外伝染病及び特定産業動物に
関する集合研修の参加者募集について

平成22年度に宮崎県で発生した口蹄疫を踏まえ、民間産業動物獣医師による海外家畜伝染病の早期発見と迅速な防疫措置の重要性が指摘されるとともに、発生時における防疫措置を支援するため、海外家畜伝染病の防疫について実践的な知識・技術を備えた民間産業動物獣医師の育成が課題とされています。

このため、公益社団法人中央畜産会では、新規獣医師等防疫基礎研修の一環として、産業動物診療経験概ね5年以内の新規獣医師を対象に、下記のとおり、海外家畜伝染病に関する集合研修を(独)家畜改良センター(本所：福島県西白河郡)で、また、特定産業動物(馬、緬羊、山羊、鹿、ダチョウ等)に関する集合研修を同十勝牧場(北海道河東郡)において開催することとしております。

この内容は、海外家畜伝染病の病性、海外での発生状況、海外伝染病の侵入に対する防疫支援対策、消毒方法等、及び特定産業動物(馬、緬羊、山羊、鹿、ダチョウ等)の飼育方法、飼養衛生対策、疾病等に関する集合研修を計画しています。

これらの海外伝染病及び特定産業動物に関する集合研修を希望される方は、別添様式の申込願書により平成25年7月12日(金)までに、(公社)中央畜産会衛生指導部(研修担当；原田)あて、メール(eisei@sec.lin.gr.jp)若しくはファックス(FAX 03-3256-9311)にて申込み又は電話(TEL03-6206-0832)によりお問い合わせ下さいませようお願いいたします。

この海外家畜伝染病及び特定産業動物に係る集合研修の募集人数は、それぞれ概ね30名を予定しておりますが、予定人数に達した時点で募集を締め切ることといたします。

なお、当該集合研修への参加費は、無料といたします。また、参加者の旅費交通費については、(公社)中央畜産会の旅費規程に基づき、参加者の住所地から研修地((独)家畜改良センター(本所：福島県西白河郡)、同(十勝：北海道帯広市(帯広駅前から十勝牧場までは貸切バスにて移動))までの往復旅費及び宿泊費(定額：5,000円(前記センター(本所)宿泊は本会旅費規程に基づき算定))を負担することを申し添えます。

記

1. 特定産業動物に関する集合研修

特定産業動物(馬、緬山羊、鹿、ダチョウ等)に係る診断、治療等に関する臨床基礎研修を行う。

- 1) 研修日時：平成25年8月7日(水)～9日(金)
- 2) 場 所：(独)家畜改良センター・十勝牧場(北海道河東郡音更町駒場8-1)
- 3) 研修内容：別紙1のカリキュラムによる。

2. 海外家畜伝染病に関する集合研修

海外家畜伝染病の病性、防疫支援技術等に関する集合研修を行う。

- 1) 研修日時：平成25年8月19日(月)～23日(金)
- 2) 場 所：(独)家畜改良センター(福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1)
- 3) 研修内容：別紙2のカリキュラムによる。

(連絡先)

公益社団法人中央畜産会衛生指導部(原田)

TEL 03-6206-0832 FAX 03-3256-9311

メール：eisei@sec.lin.gr.jp

(別紙 1)

平成25年度特定産業動物に関する集合研修日程表
(平成25年8月7日(水)～9日(金))

開催場所：家畜改良センター（十勝牧場）

月 日	時 間	内 容	担 当
8月7日 (水)	9:00～9:20	開講式、オリエンテーション	中央畜産会
	9:30～11:00	馬の飼養衛生管理と取扱い(座学)	十勝牧場(担当専門官)
	11:00～12:20	特用畜産の現状と課題	生産局畜産部畜産奈振興課畜産技術室技術第2課 課長補佐 谷口 康子
	13:00～15:00	ダチョウの飼養衛生管理について	東京農工大学農学部獣医衛生学教授 竹原 一明
	15:00～17:00	鹿の飼養衛生管理と取扱い(座学)	東京農業大学動物生産管理学研究室教授 増子 孝義
8月8日 (木)	09:00～10:30	めん羊の主な疾病 (座学)	帯広畜産大学臨床獣医学研究部門教授 猪熊 壽
	10:30～12:00	めん羊の飼養衛生管理と取扱い(座学)	十勝牧場(担当専門官)
	13:00～15:00	第1グループ:馬の保定と取扱い(実習) 第2グループ:めん羊の保定と取扱い(実習)	十勝牧場(担当専門官)
	15:00～17:00	第1グループ:めん羊の保定と取扱い(実習) 第2グループ:馬の保定と取扱い(実習)	十勝牧場(担当専門官)
8月9日 (金)	09:00～11:00	山羊の飼養衛生管理と取扱い(座学)	家畜改良センター(長野支場) 種苗業務課 課長補佐 名倉 義夫
	11:00～12:00	牧場内施設の視察等	十勝牧場(担当専門官)
	13:00～16:00	馬の主な疾病(内科・外科等)と対策	日高地区農業共済組合 家畜診療センター所長 樋口 徹
	16:10～16:30	閉講式	中央畜産会

(別紙2)

平成25年度海外家畜伝染病に関する集合研修日程表
(平成25年8月19日(月)～23日(金))

開催場所:家畜改良センター(本所:福島)

月日	時間	内容	担当
8月19日 (月)	13:00～13:20	開講式、オリエンテーション	中央畜産会
	13:30～15:00	家畜伝染病予防法の解説 (飼養衛生管理基準の概要)	農林水産省動物衛生課(担当官)
	15:00～17:30	豚の海外伝染病の病性と診断 (豚コレラ、アフリカ豚コレラ等)	動物衛生研究所 主任研究員 大橋 誠一
8月20日 (火)	09:00～12:00	牛等の海外伝染病の病性と診断 (口蹄疫等)	動物衛生研究所 研究安全管理役 吉田 和生
	13:00～15:00	牛のヨーネ病の病性と診断	動物衛生研究所 領域長補佐 森 康行
	15:00～17:00	牛の白血病の病性と診断	動物衛生研究所 主任研究員 小西 美佐子
8月21日 (水)	09:00～12:00	豚の主な伝染性疾病と対策	日本養豚開業獣医師協会 代表理事 大井 宗孝
	13:00～15:30	鶏の海外伝染病の病性と診断 (高病原性インフルエンザ等)	動物衛生研究所 上席研究員 西藤 岳彦
	15:30～17:30	海外伝染病の侵入防止及び輸出入検疫状況	農林水産省 動物検疫所 調査課長
8月22日 (木)	09:00～10:30	豚飼養農場の衛生対策 (飼養衛生・消毒・バイオセキュリティ)	家畜改良センター(茨城牧場) 業務第二課長 齋藤 政宏
	10:30～12:00	座学:消毒・防疫の実際	家畜改良センター(本所) 生産衛生課長 田上 勝則
	13:00～14:30	実習:防疫服の着脱、消毒演習 (動力噴霧器による車両消毒等)	家畜改良センター(本所)
	14:30～17:00	実習:豚の保定と取り扱い、採血、処分方法等	家畜改良センター(本所)
8月23日 (金)	09:00～12:00	飼料給与と衛生管理	日本獣医生命科学大学 名誉教授 木村信熙
	13:00～15:00	宮崎県の口蹄疫の発生と防疫措置	宮崎県農政水産部畜産新生 推進局 家畜防疫対策課
	15:10～15:30	閉講式	中央畜産会

様式

新規獣医師等防疫基礎研修申込願書

平成25年 月 日

公益社団法人中央畜産会

会長 小里 貞利 殿

住 所

申込者

印

平成25年度海外伝染病・特定産業動物に関する集合研修を受けたいのでお願いします。

ふりがな 氏 名 (受講者名)				
性別・生年月日		男・女	昭和	年 月 日
住 所	現住所 (上記と異なる場合)	TEL		
	緊急連絡先	TEL		
集合研修の参加希望の有無		海外家畜伝染病に関する集合研修： ① 参加 ② 不参加		
		特定産業動物に関する集合研修： ① 参加 ② 不参加		
大学、卒業年月日 獣医師免許等番号		大 学 名		
		卒業年月	平成	年 月
		獣医師免許証番号 交付年月日		
所属先・ 住 所 地	研修後の所属先 名及び住所地(現 所属と同じ場合は 記入しない。)	(所属先名)		
		(住 所 地) 〒 【		

(注) 1. 研修についての雇用者の承諾書(ただし、雇用されないものは除く。)を添付して提出するものとするが、雇用者が申込願書を一括し、これに研修を承諾する旨の書面を添付して提出してもよい。

2. 勤務獣医師の場合は、積算する住所地の起点を「所属先・住所地」とすることから、【 】内に最寄りの駅名、又はバス停名(路線名等)を記入してください。